



こすもスマイル



発行／小林市立病院
地域医療連携室

23号

平成28年12月26日発行

～病院長のあいさつ～



2016年も皆様方には西諸医療圏における医療に対して多大なるご尽力いただき誠にありがとうございます。感謝いたします。

当院は2010年に常勤医が削減され、全国的に問題となった地域の医師不足、地域医療崩壊の中、急性期医療および救急医療を中心とし、地域医療支援病院の役目を果たすために医師会、周囲の医療機関のご協力のもと医療連携を図ってきました。

そして今後もその連携をさらに充実し、実践することが当院の役目のひとつであると認識しています。同時に医師、看護師、コメディカルを含めたすべての医療従事者の医療レベルの向上、さらには当院で実践している医療の全国的な客観的評価を受けることが必要と考え、2018年にはDPC対象病院となり医療の向上並びに効率化をめざすことで周囲の医療機関、住民の皆さまからの信頼を得るよう努力している次第です。また常勤医師、看護師を含めた人材不足がなかなか解消できない状況ですが、教育体制を整備し、医療現場での安全で心のこもった適切な医療を提供する人材の育成もさらにすすめていく必要があると考えています。

今後の課題である地域包括医療・ケアの実践においては、当院は現在の急性期医療を維持し、かつ回復期、介護、在宅ケアを含めた包括医療の中心的医療機関のひとつとして機能しなければならないと考えています。そのためには西諸医療圏の医療機関の役割分担など多くの課題があると思いますが、周囲の医療機関からの信頼を得ることで包括医療の連携を密にしていきたいと考えています。

当院は、皆様方の期待に応えられる医療を提供できるように今後も努力する所存ですので西諸医療圏の医療発展のためにご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

小林市立病院 病院長 徳田 浩喜

理 念

「安心、安全で信頼される病院を目指します」

【基本方針】

- ◎ 西諸の中核病院として、地域の医療機関と連携し、高度な医療を提供します
- ◎ 職員一丸となって、迅速な対応とチーム医療で、安全な医療を提供します
- ◎ 誠実かつ真摯(しんし)な姿勢で日々研鑽(けんさん)に努め、信頼される質の高い医療を提供します
- ◎ 自治体病院として、平等で心が通い合い、安心できる快適な療養環境を提供します
- ◎ 患者様と家族の満足を追求し、プライバシーの保護をはじめ患者様の権利を尊重します



診療科紹介

今回は

泌 尿 器 科

です。



泌尿器科は日本泌尿器科学会指導医2名が常勤しており尿路性器癌に対する治療を中心に尿路性器感染症、排尿機能障害、尿路結石、腎不全などの診療を担当しています。今回は当科での手術治療についてご紹介させていただきます。

日本泌尿器科学会認定の拠点（基幹）教育施設を2014年4月に取得して以降、手術件数は2014年116件、2015年128件、2016年11月末現在84件と泌尿器科標準手術年間80件以上を維持できており地域の先生方のおかげと感謝致しております。当院では2012年以降上部尿路癌（腎癌、腎盂癌、尿管癌）に対して腹腔鏡手術を行っており、その症例数は年間8-10件で推移しています。その他は年間で前立腺癌に対する前立腺全摘除術10-15件、膀胱癌に対する経尿道的膀胱腫瘍切除術（内視鏡手術）20-30件、前立腺肥大症に対する経尿道的前立腺切除術10-20件、上部尿路結石（腎結石、尿管結石）に対する経尿道的尿路結石破砕術30-40件、腎不全患者に対する内シャント造設術、あるいは透析患者のシャント閉塞に対するシャント再建術20件、透析患者のシャント不全に対するPTA（経皮的血管形成術：シャント拡張術）20件などです。また、膀胱癌に対する膀胱全摘+尿路変更術（回腸導管）、あるいは回腸利用代用膀胱や腎盂尿管移行部狭窄症に対する腎盂形成術も行なっています。水腎症に対する尿管ステント留置や腎瘻造設術、尿閉、尿道狭窄に対する膀胱瘻造設術はエコーあるいは透視下で行なっています。

今回は手術のご紹介をさせていただきましたが、日頃より近隣の先生方には急性期治療後の治療継続にご協力いただき誠にありがとうございます。地域が超高齢化、独居の患者さんが多く見受けられます。自宅復帰が困難な際は地域の医療機関や福祉介護施設にお願いすることがあると思いますが、ご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

小林市立病院 泌尿器科医長 森 勝久

今回のお花

小林華道連盟より
毎週すばらしいお花をいただいております。



看護部紹介

今回は **手術室** です。



今回は手術室・中央材料室を紹介します。

手術室は3室あり、主に外科・整形外科・泌尿器科の手術が行われています。平成27年の手術件数は578件で、約1割が緊急手術です。

中材では主に洗浄・消毒・滅菌業務を行っています。洗浄には用手洗浄、器械洗浄があり、当院ではウォッシャーディスインフェクター（WD）：1台、超音波洗浄機：1台を有しています。WDはスタートを押せば予備洗浄・洗浄・すすぎ・熱消毒・乾燥と工程が進み終了しますが、器械の能力を100%引き出すように、使用する側が適切に使用する必要があります。また、洗浄後の器材は目視による確認に加え、インジケータを用いた間接判定も有用です。正常稼動時のインジケータソイルの残存状態をスタンダードとして、洗浄評価がかけ離れた場合、洗浄機や洗剤などの点検が必要です。過去、インジケータソイルの残存があり点検したところ、洗剤の注入量が不足しており、その原因は洗剤ホースの劣化でした。洗浄・滅菌不良は感染のリスクとなるため、洗浄・滅菌の質向上への取り組みは欠かせません。今後ともご指導よろしくお願いたします。

小林市立病院 手術室・中央材料室 看護師長 米丸 博子

★ 手術室 Newface 紹介 ★



押川 理香

趣味：買い物



手術室に配属になり、8ヶ月になりました。

まだまだ勉強中ですが、外科・整形外科・泌尿器外科手術の外回り業務には、先輩のアドバイスをもらいながらつけるようになりしました。異動当初は、わからないことや覚えることが多くあり戸惑う毎日でしたが、モチベーションの高い先輩方に支えられ、今は緊張感を持ちつつ充実した日々を過ごしています。

今後も、自分の気付かないこと、視点が向かないところを埋めていき、患者さん・スタッフと良い関係が築けるよう積極的に関わっていきたいと思っています。

海田 由香

趣味：映画鑑賞、バスケットボール



皆さんこんにちは。

私は、5月から手術室に勤務しています。以前は5年間愛知県にいましたが、地元が好きで地元で働きたい気持ちが強く帰ってきました。現在、半年が経ち手術の外回り、器械出しについています。

まだまだ知識・技術面で未熟な所が多く、ご迷惑をお掛けする事もあるかと思いますが、患者さんの安心・安全を第一に精一杯頑張りますので宜しくお願いします。

クリスマスコンサート

当院ではクリスマスの時期にコンサート開催しており、今年も12月10日に1階エントランスホールにて行いました。

毎年、「地域医療を考える会」をはじめとした方々のご協力で入院患者さんや患者さんのご家族などたくさんの方がご参加下さいました。今回も様々な演目があり、ご観覧いただいた皆さんに楽しいひとときをお過ごしいただきました。



院内保育園「もみのき保育園」園児

ゆうぎ：「カボチャのチャチャチャ」
ゆうぎ：「エピカニクス」

南保育園 つき組 園児

ゆうぎ（男の子）：「ヤーレンソーラン」
ゆうぎ（女の子）：「ココ★ナツ」
うた：「花は咲く」

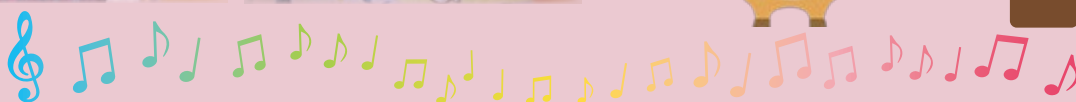


高校1年生

楽曲：「おんがく」
楽曲：「You raise me up」

アンサンブル・アダーシヨ

ヴァイオリン・ヴィオラ演奏
読み聞かせ：「ねこのおいしゃさん」
クリスマスメドレー
楽曲：「ふるさと」



献立紹介



1月行事食
お正月

2017年

明けまして

おめでとうございます



おせち料理

重箱に詰められている料理や食材には、それぞれ意味があります。

その中で、当院で行事食としてお正月に提供しているおせち料理を紹介します。

- 数の子・・・子宝や子孫繁栄を願う縁起物
- 黒豆・・・邪気を払い、無病息災を願う
- 伊達巻・・・文化の発展または、学問や習い事の成就を願う
- 栗きんとん・・・金運を呼ぶ縁起物
- 紅白なます・・・平安と平和を願う縁起物
- 海老・・・長寿を願う食べ物
- 鯛・・・「めでたい」の語呂合わせから用いられている
- ブリ・・・出世を願って食べられる
- 煮しめ・・・家族が仲良く一緒に結ばれる

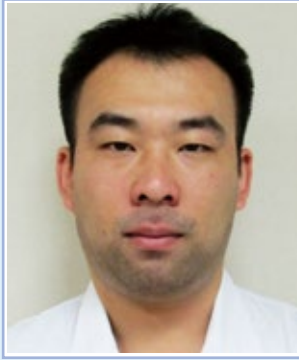


新規医師紹介

畠中 健吾

診療科 救急科

趣味 バスケットボール



12月よりこちらの病院に勤務することとなりました、畠中健吾と申します。出身は高鍋町、大分大学医学部を卒業した後に、宮崎へ戻って参りました。宮崎県の出身ではありますが、まだまだ知らない土地が多く、小林市についても知らないことばかりです。是非、いろいろと教えて頂ければと思います。赴任して数日となりますが、小林市民の市民性と言いますか、心温まる人間性に早くも助けられてばかりです。趣味特技はバスケットボールでしたが、最近はめっきり運動をする機会が減り、ボールの感覚を懐かしく感じております。

所属は救急科となります。救急科としての仕事のみならず、自分に出来ることは何でもさせて頂ければと思います。救急科の医師は短期間の勤務になりがちで、皆さんにも迷惑をかけることが多いかと思っております。短期間ながら精一杯の診療を提供出来ればと考えておりますので、何卒宜しく御願ひ致します。

地域医療連携室からのお知らせ

症例検討会のご案内

第24回症例検討会を下記の日程で開催する運びとなりました。皆様には、何かとお忙しい時期ではあると思いますが、スケジュール調整のうえ、多数のご参加をお待ちしております。

日 時 平成29年1月23日(月) 18時30分～

場 所 小林市立病院 2階大会議室

演題応募も受け付けています!! たくさんのご応募お待ちしております。

演題締切 1月6日(金) 抄録締切 1月13日(金)

※演題申込はFAXにて受け付けています。また、メールでも応募可能です。

応募方法などご不明な点がございましたら、地域医療連携室までお問い合わせ下さい。

連絡先

TEL 0984-23-8225 (直通)

FAX 0984-23-8226

小林市立病院 地域医療連携室

Mail k_hosp5@city.kobayashi.lg.jp

編集後記

早いもので今年も残りわずかとなりました。院内ではクリスマスツリーが飾られ、もみのき保育園の子供たちがクリスマス会に向けて練習に来てくれています。子供たちのかわいい笑顔に心がほっこり温まるかのようです。そんな一時も大切にしていきたいものです。年の終わりは何かと慌ただしい時期ですが、一年の締めくくりをしつつ、2017年!! 心新たに頑張っ
てゆきたいと思っております。今年も地域医療連携室一同大変お世話になりました。来年もどうぞ宜しくお願
ひします。



医療ソーシャルワーカー 佐土原 千波

1年間大変お世話になりました。

2016年はどの様な一年でしたでしょうか。

2017年が皆様にとって良い年になりますように。

来年も宜しくお願ひいたします。

